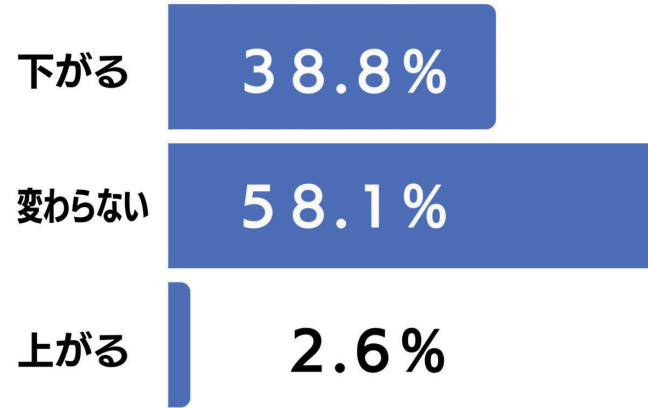


# 65歳以上の4割が下がる

2024年の  
介護保険料



市議会は3月26日、2024年度からの介護保険料（65歳以上）を全会一致で決めました。約4割の方が引き下げ、約6割の方が昨年度と同じ保険料になります（左のグラフ）。

国は65歳以上の介護保険料について、「今後の介護給付費の増

加を見すえ、高齢者間での所得再分配機能を強化し、低所得者の保険料上昇を抑える必要がある」とし、年間所得が420万円以上で引き上げました。介護保険料は、所得などによって差があります。これまでの9段階から13段階に細かく分かります。昨年度の第9段階（所得320万円以上）の上に、所得420万円以上を対象とした10から13段階をつくり、保険料を引き上げます。第1から3段階に位置づけられている低所得者（38.8%）は、保険料が下がります（上のグラフ）。

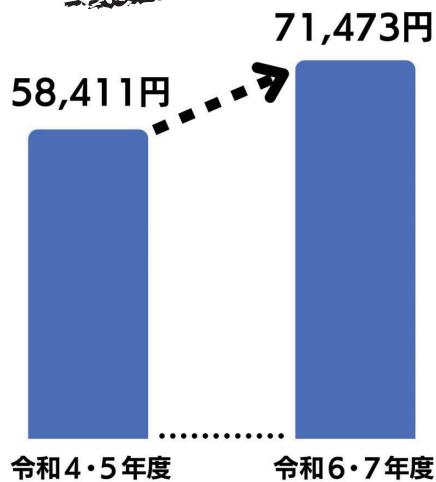


## 「ガザ地区における人道目的の停戦等の実現を求める決議」

全会一致で日田市議会が決議する（3月26日）

# 平均13,062円の値上げ

75歳以上  
医療保険料



日隈市議は3月26日、後期高齢者医療保険料（65歳以上）の値上げに日本共産党日田市議団を代表して反対討論を行いました。採決の結果、大谷、日隈を除くすべての市議が賛成し、年平均1万3062円の値上げが決まりました。

75歳以上が入る後期高齢者医療制度は、保険料を2年ごとに見直します。令和4・5年度は年平均5万8411円でした（左のグラフ）。

## 物価高で年金目減り、さらに負担増

日隈市議は、国が現役世代の保険料負担の上昇を抑えるためという理由で、後期高齢者医療保険料を値上げしたことを批判。

「5年間で43兆円にも増やす軍拡予算を見直し、後期高齢者医療保険の国庫負担を増やすべきだ」と反対討論で訴えました。

令和6・7年度は年平均7万1473円になります。この値上げは、年収が153万円をこえる75歳以上の高齢者を対象に、国が医療保険料を引き上げたことにあります。加えて、国が子どもの出生育見一時金拡充のための財源の一部を75歳以上の高齢者に一人あた

り691円、保険料に上乗せしています。

今年の年金改定率は2・7%の引き上げで、昨年の物価上昇率3・2%を下回っています。つまり、物価高で年金は目減りしています。

第2次安倍政権以降の12年間で公的年金の減額が、年金約1カ月分にあたり、消費税率は2倍、介護保険料の値上げも断続的に続いています。



日隈市議は、国が現役世代の保険料負担の上昇を抑えるためという理由で、後期高齢者医療保険料を値上げしたことを批判。「5年間で43兆円にも増やす軍拡予算を見直し、後期高齢者医療保険の国庫負担を増やすべきだ」と反対討論で訴えました。